

自主防災部



部会長

三谷 孝治

本年度も防災部を担当することになりました。どうぞよろしくお願い致します。昨年7月にはコミュニティ構成団体による飯山北地区自主防災部が設立されました。今年度は地域防災訓練、自治会防災出前講座、避難所整備など自主防災部を上げての取り組みを計画していきたいと思えます。最近、特に思うことは、地域のなかにおいて、住民同士のつながりなどが昔に比べれば薄れてきているように思われます。近年は行政指導などにおいては、住宅、公共施設などの耐震化など、災害時の取り組みもだんだんと整いつつありますが、いざ災害が発生したときに実際行動するのは地区の住民一人ひとりです。今の現状で、大災害が発生したとき、住民同士が声を掛け合い助け合いする行動が出来るでしょうか。また、そのための防災訓練など積極的に住民の皆さんは参加できているでしょうか。まだまだそういう住民が少ないように思われます。近く南海トラフ巨大地震の発生が危惧されておりますが、現状では、今の自主防災組織自体も機能しないのではないのでしょうか。今からでも遅くはないと思います。自主防災組織の今後の強化ならびに住民一人ひとりがいつ発生するかわからない災害に対して準備することが減災になります。我々防災士もなお一層災害についての啓発活動を続け、住民同士のつながりをいっそう強め、地区全体が一体感を持つて、いつ発生するかわからない大災害に備えられるようにならないければならないと思えます。我々防災士も4月より新たに二名の防災士が誕生し四名で今後、微力ながら地域住民のみならずとも真の防災力向上を目指して頑張りたいと思えます。

とりがいつ発生するかわからない災害に対して準備することが減災になります。我々防災士もなお一層災害についての啓発活動を続け、住民同士のつながりをいっそう強め、地区全体が一体感を持つて、いつ発生するかわからない大災害に備えられるようにならないければならないと思えます。我々防災士も4月より新たに二名の防災士が誕生し四名で今後、微力ながら地域住民のみならずとも真の防災力向上を目指して頑張りたいと思えます。

青少年健全育成部



部会長

近石清一郎

今年も老人会を代表して、中学校の卒業式・入学式に出席しました。小学生では幼な過ぎる、高校・大学では現実が厳し過ぎる。中学校生活が一番だとよくいわれます。同窓会は、いつの間にか中学校時代の親睦会になってしまっています。さて、テレビ等を見てみると、旅立ちの歌が時代の流行で変わってしまいました。

ただ、歌い終えた女子生徒が、3年間の貴重で懐かしさが凝縮されているそれぞれの想い出が目に見え、ポロポロと涙を流して感動して

今日も「かがやいて」

かがやいて

かがやきクラブ 桃の里

毎週水曜日、朝10時から様々なプログラムを行うことで、認知症を予防し、喜びあふれる毎日を過ごしていただけるよう活動しています。

飯山北地区の方であれば、誰でも自由に参加いただけます。

参加は無料、約40名の利用者と20名のサポートスタッフが楽しい時間を共有しています。

今回は先日みんなで作った、かがやき標語を紹介します。

いる姿を見て、ほっとしました。充実した3年間の成果を、これからの生活に充分生かして頑張ってくれることを念じております。

人は一生懸命が一番大切です。自分に伝わり「すごい涙が」身体の中にできるのだと思えます。

これからは、各人、それぞれの進路があります。

よく言われる言葉で、人生とは「子が親になる」ことだと言われます。義務教育で得た知識や礼儀が、今後益々充実して、良き大人になってくれることを心の中で念じながら卒業式を見守りました。

町のシンボルである讃岐富士は私達に安心感を与えてくれます。郷土の自然と文化の発展が成長期の多感な中学生の人間形成にいかに大事であるかを感じた一日でした。



仲良くおしゃべり 毎日笑顔!!

小鳥の声で目を覚ましこたつ抜け出しさあ行こう笑顔あふれるかがやきへさあ行くぞ笑顔花咲くかがやきクラブ今日も元気にいちにいさん！化粧して服を選んでかがやきへ週に一回若返る水曜日るんるん気分でかがやきへ笑顔の友に会いに行く

どうですか、楽しそうでしょうか。ぜひ一度、遊びに来てください。お待ちしております。

「ペットの糞」始末は飼い主の手で

愛犬の運動は毎日欠かせません。しかし、他人の宅地付近や道路に糞がそのまま放置されている状況をよく目にします。愛犬の運動は飼主自ら汚物を片づけることが大切です。お互いにマナーを心がけ地域の環境衛生にとめましょう。

